

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R2年12月 1日

事業所名: デイサービス みどり園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			利用人数が少ないため、個々でゆっくり過ごせるスペースを確保している。	◎	100					
	2 職員の適切な配置	○				○	87.5		△	12.5		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		○		階段があるため、バリアフリーとは言えないが、2階の活動場所自体はバリアフリー。	◎	100				安全面に最大限配慮しながら昇降を行っていきます。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				◎	100					
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			気になることがある際には、支援者間で情報共有し、課題点が改善されるよう評価を行っている。	/	/	/	/	/	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○		/	/	/	/	/	常に改善すべきことは即座に変更していきますので、遠慮なくお申し付けください。	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保		○			/	/	/	/	/		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				◎	100				前年度まで100%ではなかったため、今年度はきちんと徹底して行いました。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				◎	100					
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/	/		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				◎	100					
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○				/	/	/	/	/		
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				○	75	△	12.5	△	12.5	
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			長期休暇時には、外出を多く設けると共に、時期によって課題を設定するよう心掛けている。	/	/	/	/	/		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○				/	/	/	/	/		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○				/	/	/	/	/	スタッフの就業時間が違うため、次の日の業務開始までに情報の共有は必ず行っています。	
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○				/	/	/	/	/		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○				/	/	/	/	/		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画		○		勤務体制等で会議の時間帯に適切なスタッフが参加できないことがある。	/	/	/	/	/	必ず出勤していますが、最も適切なスタッフということで勤務上難しいためどちらとも言えないを選択。	
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			○	必要な児童の利用はない。	/	/	/	/	/	利用実績がないため、いいえを選択しています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3			○	必要な児童の利用はない。						利用実績がないため、いいえを選択しています。	
	4	○									昨年度、一昨年の評価を踏まえ、共有に今年度は力を注ぎました。	
	5	○										
	6			○							同法人の天使園から情報共有を受けています。	
	7			○	交流はない。静かな場所を好む人が多いため、機会を設けることは難しい。特に今年はコロナ禍の影響もあり自粛。	△ 25	△ 12.5	○ 62.5				今年はコロナ禍のため、実施していません。
	8			○	以前は夏祭りをしてしたが、コロナ禍ということもあり、行っていません。							今年はコロナ禍のため、実施していません。
	1	○				◎ 100						
	2	○				◎ 100						前年度の評価を踏まえ、丁寧な説明を行いました。
保護者への説明責任・連携支援	3		○			△ 25	△ 25	○ 50				どうしてもこの項目は改善が難しいですが、少しでも助言できるように努めています。
	4	○				○ 87.5	△ 12.5			利用が少ないため、子供の状況を伝える機会が少ない。	他事業所との併用利用や夏休みだけの利用だったりするため、どうしても難しい面。	
	5	○				○ 62.5	△ 12.5	△ 12.5		利用が少ないため、どちらとも言えない。	他事業所との併用利用や夏休みだけの利用だったりするため、どうしても難しい面。	
	6			○				△ 37.5	○ 62.5			事業の特性上、保護者会を設けることは考えていません。
	7	○				△ 25	△ 12.5	○ 62.5				
	8	○				◎ 100						
	9	○					△ 37.5		○ 62.5			定期的な会報などは作っていませんが、毎月の予定表など更にご要望に応えられるようにしていきます。
非常時等の対応	10	○				○ 87.5		△ 12.5				取り扱いには十分配慮しておりますのでご安心ください。
	1	○				○ 75		△ 25				前年の周知不足を踏まえ、お迎えに来られた保護者に説明いたしました。
2	○					○ 75		△ 25				行った際には、連絡帳に記載しておりますので、ご確認ください。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○									
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○									
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○									医師の指示書までの方は利用されていませんが、アセスメントでお聞きした個々の情報はSFで共有しています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			起こった際には、速やかに共有する体制を整えている。						

満足度	1 子どもは通所をたのしみにしているか					◎ 100				子供は利用を前日から楽しみにしています。	今後も学校と自宅の良いクッションとなり、お子様を安心して預けていただけるよう努めます。
	2 事業所の支援に満足しているか					◎ 100					今年も満足100%達成しました。来年度からは天使園に移動し、更にパワーアップします。